

令和5年度 自己評価報告書（日高ななつ星放課後児童クラブ）

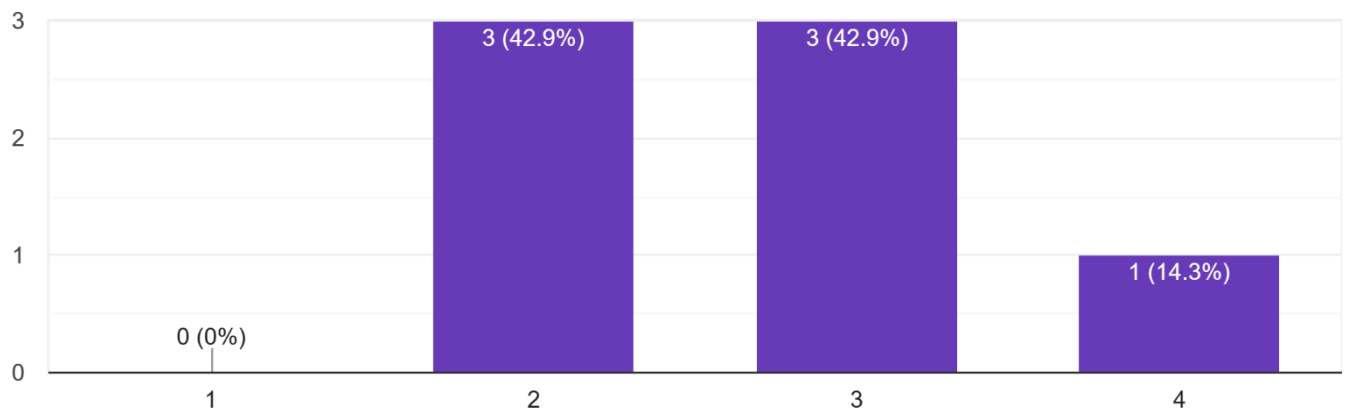
標記について、次のとおり取りまとめましたので報告いたします。

なお、自己評価の結果をもとにして園の強み弱みを分析しながら改善を行い、保育の質の向上に努めて参ります

1 【育成支援】

放課後児童クラブにおける育成支援は、子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整え、安全面に配慮しながら子どもが自ら危険を回避できるようにしていくとともに、子どもの発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるように、自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等により、子どもの健全な育成を図ることを目的とすることを理解している。

1 育成支援 放課後児童クラブにおける育成支援...育成を図ることを目的とすることを理解している。
7件の回答



【上記取り組みの成果】

- ・使うスペースが狭いけど、場所を分けて活動できた
- ・遊ぶスペース、静かに過ごすスペースなどできる範囲で場を分けるようにした。
- ・安全面に留意し環境を整えていたため、子どもたちは、大きな事故もなく過ごすことができた。
- ・遊びなどは、子どもたち自身で遊びたいものを、異年齢の集団で遊んでいたのも、主体性、社会性が育ったように思う。
- ・手洗いや、おやつを食べるときの衛生的なことなど、基本的な生活習慣を身につけることができた。
- ・外遊びのとき、特に重大な事故にならないように十分に注視した。
- ・学年・体格の違う子ども同士の、遊びの仲介や提案
- ・なるべく子どもだおしで遊ぶよう促している
- ・怪我がないことが良かった。

【上記取組の今後の課題】

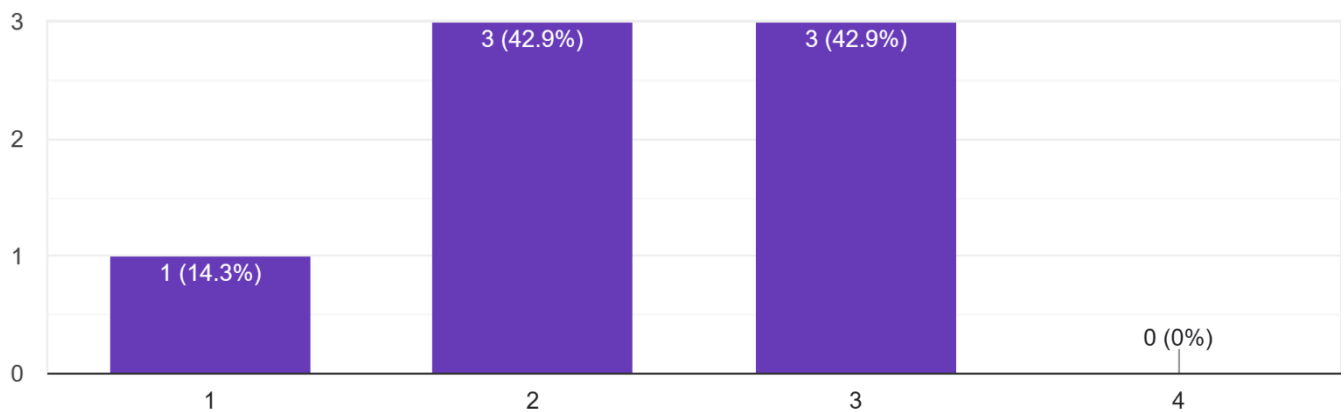
- ・子どもたちにあったイスや机など環境整備を作りたい
- ・児童クラブが常に使用できる活動場所を作る。「基本的な生活習慣の確立」のために活動時間に区切りをつける。
- ・子どもたちが、危険を自ら回避できる力を身に付けさせるには、不十分であった。
- ・床で遊ぶ子どもも多いので、出来る限りの清掃
- ・小学生用の備品、トイレ等
- ・子どもたち全員に目配りする
- ・遊びや生活が支援員都合によって行われているようであり、こども達が主体的に遊んでいる様子があまり見られなかった。

2 【研修等】

放課後児童支援員等は、研修等を通じて、必要な知識及び技能の取得、維持及び向上に努める。

2 研修等 放課後児童支援員等は、研修等を通じて...な知識及び技能の取得、維持及び向上に努める。

7件の回答



【上記取組の成果】

- ・長期休みの1日の流れを貼ることで子どもたちが自分たちで時計をみて行動に移すことが出来た。
- ・研修に参加し、知識の向上に努めた。
- ・研修が終わった後も、資料を読み返して、児童クラブの支援に役立てた。
- ・アレルギーへの対処法
- ・毎回の研修等に参加し知識、技能を学んでいます
- ・全員が研修できるように時間設定をしながら、共通理解をしていた。

【上記取組の今後の課題】

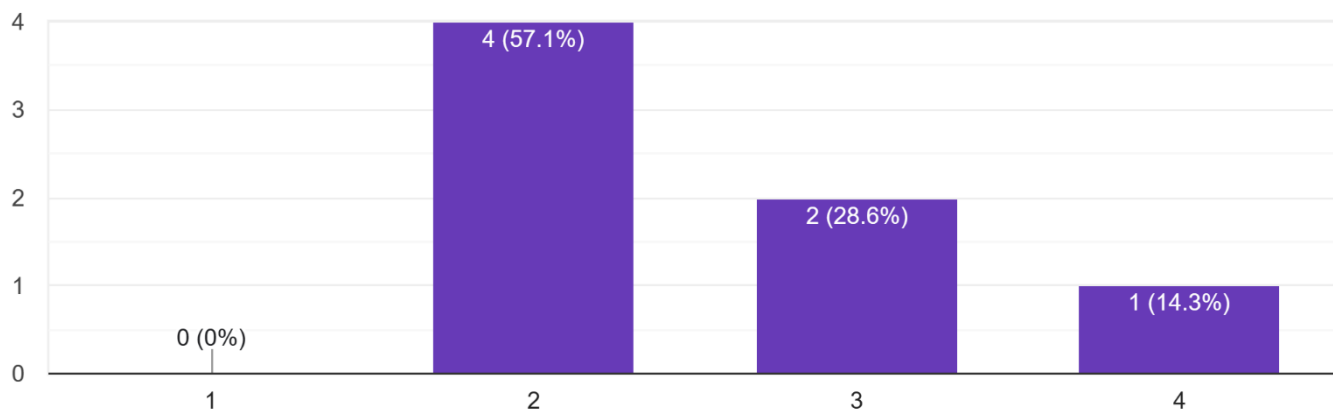
- ・研修で得た事を取り入れていく
- ・研修は受けていても、実際の対応は様々なため、繰り返し確認していく。
- ・研修の資料だけではなく専門の本を購入して読む。
- ・一度限りでなく復習を実施する
- ・こどもの育ちや、児童福祉についてもっと理解をしていかなければならない。

3 【障害のある子どもの受入れの考え方】

障害のある子どもについては、地域社会で生活する平等の権利の享受と、包容・参加（インクルージョン）の考え方に立ち、子どもの同士が生活を通して共に成長できるよう、障害のある子どもも放課後児童クラブを利用する機会が確保されるための適切な配慮及び環境整備を行い、可能な限り受け入れに努める。

3 障害のある子どもの受入れの考え方 障害の...環境整備を行い、可能な限り受け入れに努める。

7件の回答



【上記取組の成果】

- ・積極的な受け入れを行った。
- ・トラブルを起こしたときは、直ぐに注意しないで、どうして起こったのかを丁寧に聞いた。
- ・子ども同士で遊べるように間に入る
- ・問題が発生しないよう職員同士で情報共有している
- ・実践については、対応できていた。

【上記取組の今後の課題】

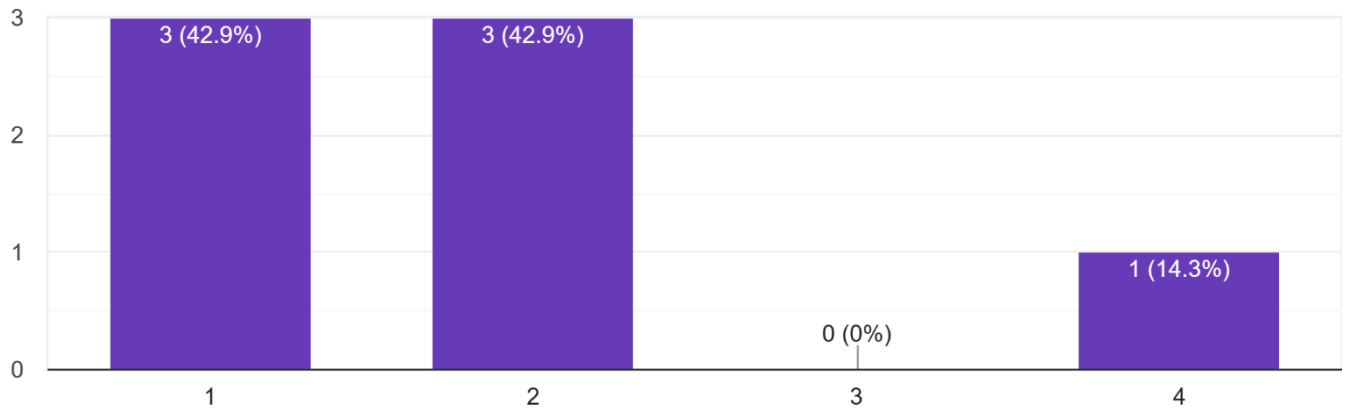
- ・落ち着く場所が日に変わることがあるので固定の部屋をつくる
- ・受け入れに必要な環境を整える。
- ・障がいのある子どもの特徴を専門書等でもっと学ぶ。
- ・個々、場面毎の対応の仕方
- ・綿密な情報共有を実施する
- ・細やかに記録し、支援の手立ての見直しを図るべき。

4-1 【保護者との連絡】

無断欠席のないよう子どもの出欠席についてあらかじめ保護者からの連絡を確認しておく。

4-1 保護者との連絡 ・無断欠席のないよう子...てあらかじめ保護者からの連絡を確認しておく。

7件の回答



【上記取組の成果】

- ・児童クラブたよりや声かけで無断欠席が少なくなった
- ・漏れがないか気をつけながら確認している。
- ・マグネットの名札を作り、ホワイトボードにはることで、出欠の把握がしやすくなった。
- ・連絡がない家庭には、必ず電話をし、出欠を確認した。
- ・コドモンで出欠を毎日確認できた。
- ・保護者から確認している
- ・ICTを活用しながら、すべての子に対しての確認が良くできていた。

【上記取組の今後の課題】

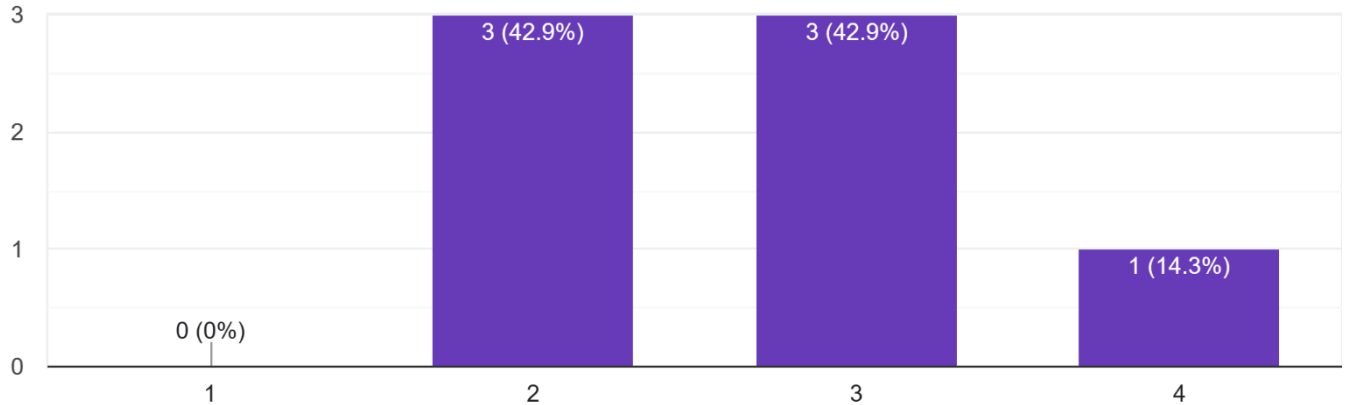
- ・見落とししないようにする
- ・連絡を見落とししていたり、職員間で情報を共有できていないことがあったので、二重チェックや声を掛け合うなどして共有していく。
- ・欠席を見落とさない様に気をつける。
- ・連絡なしの保護者もいるので促していく。
- ・電話での連絡を受けた時に、伝達を忘れたことがあるので、すぐに連絡をするよう改善する。

4-2【保護者との連絡】

放課後児童クラブにおける子どもの遊びや生活の様子を記述や写真等で記録し日常的に保護者に伝え、子どもの状況について家庭と放課後児童クラブで情報を共有する。

4-2保護者との連絡 放課後児童クラブにおけ...について家庭と放課後児童クラブで情報を共有する。

7件の回答



【上記取組の成果】

- ・以前より写真を撮るようになった
- ・日常的に写真を撮るようになった。
- ・いいねに児童クラブの様子を伝えることができた。
- ・職員同士での情報共有を実施しています
- ・写真記録については情報が少なく、こどもがどんな風に生活しているのかが保護者に伝わっていないと思われる。

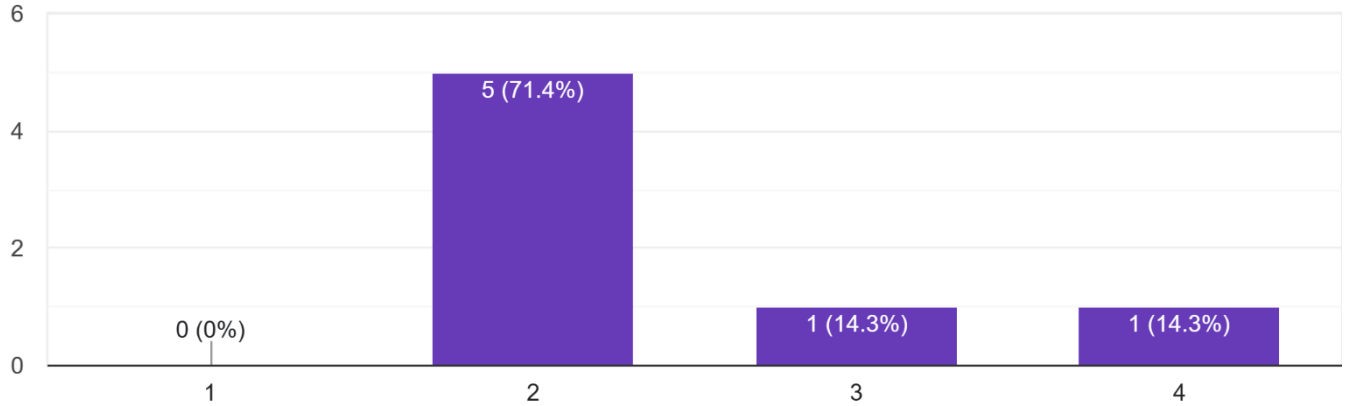
【上記取組の今後の課題】

- ・写真を撮るように心がけ、児童クラブ（夢みるこどもたち）に様子がわかるように伝えていく。
- ・様子の記述に時間が必要で作業する時間を確保する。
- ・今後は内容をより充実させる。
- ・保護者との情報共有も積極的に実施したい
- ・写真係を決めてでも記録をする、ICTを利用して定期的に配信を行うようにする。

5 【学校との連携】

子どもの生活の連続性を保障するために、情報交換や情報共有、職員同士の交流等によって学校との連携を積極的に図る

5 学校との連携 子どもの生活の連続性を保...同士の交流等によって学校との連携を積極的に図る
7件の回答



【上記取組の成果】

- ・下校途中の出来事や学校行事と変更などの情報交換ができた。
- ・子どもの対応に困ったときは相談した。複数の支援員の話しを聞く。
- ・職員同士の情報共有を実施している
- ・気になる児童、ケアが必要な児童についての情報交換が出来ていた。

【上記取組の今後の課題】

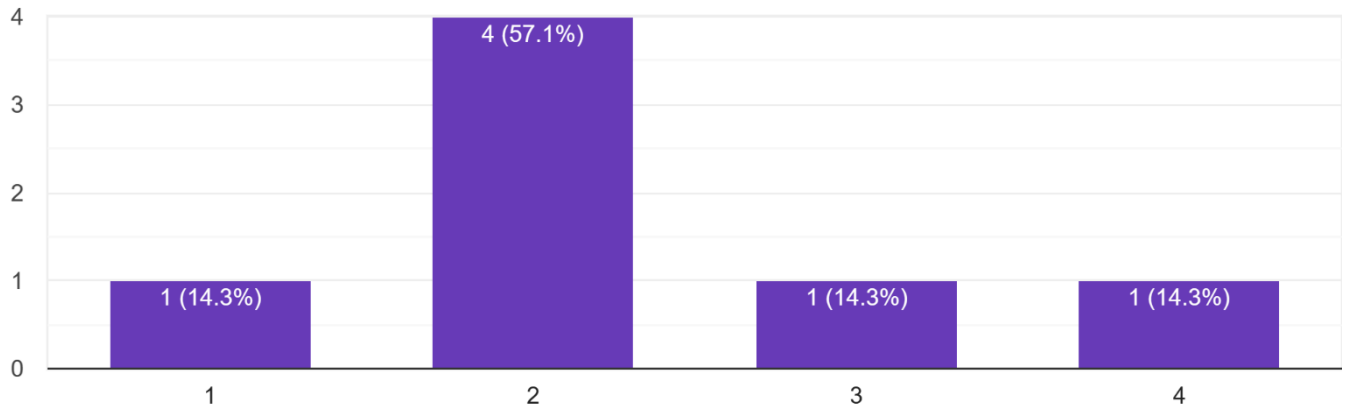
- ・積極的に情報交換する
- ・学校との情報交換・情報共有を密にする。
- ・綿密に情報共有、交流を実施する。
- ・児童クラブだより水沢小、南小に渡すようにする。

6 【 防災及び防犯対策】

放課後児童クラブの運営主体は、市町村との連携のもとに災害時の発生に備えて具体的な計画及びマニュアルを作成し、必要な施設設備を設けるとともに、定期的に（少なくとも年2回以上）訓練を行うなどして迅速に対応できるようにしておく。また、外部からの不審者等の侵入防止のための措置や訓練など不足の事態に備えて必要な対応を図る。

6 防災及び防犯対策 放課後児童クラブの運...や訓練など不足の事態に備えて必要な対応を図る。

7件の回答



【上記取組の成果】

- ・様々な想定を考え、動きを確認しながら月1回の避難訓練を行った
- ・あらゆる場面を想定した避難訓練を行なった。
- ・一部の児童が訓練の重要性を理解できていないため、毎回その子どもたちへの指導を要する。
- ・どのように行動したらよいか、身についてきている。
- ・あまり出来なかった。
- ・自分が担当した係についての動きや進め方
- ・毎月しっかりと訓練し、記録を撮っていた。

【上記取組の今後の課題】

- ・後ろの人まで届くように大きな声で誘導する
- ・避難訓練の回数を重ねるごとに慣れからか子どもたちの危機感が薄れ、ふざける姿が多くなった・ため、訓練の回数を減らし真剣に取り組む。
- ・自分事として捉えられるように、災害についての情報を、日常的に話題にするなどしたい。
- ・生活している遊戯室が、放送が入らないため、緊急連絡が聞き取れないので、放送設備を整えることが必要と感じる。
- ・訓練に慣れすぎてしまわないようにする
- ・子どもたちが安心して過ごせるよう、より一層の向上をする
- ・こども達が主体的に取り組めるように、3、4年生を防災リーダーとして任命して、こどもの中で組織化できればもっとより良い防災活動につながると思います。